

にぎわい

～ 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信 ～

平成18年7月号

VOL.97

会員だより

■ 第8回津軽海峡横断カヌートライアングル	
	青森県中泊町・・・・・・・・・・ 1
■ みなとオアシス酒田	
	山形県酒田市・・・・・・・・・・ 3
■ 新しい能代市を紹介します	
	秋田県能代市・・・・・・・・・・ 5
■ 今年度、東北地方で3つのみなとオアシスが誕生	
	・・・・・・・・・・ 7, 8, 9

青森県中泊町 第8回津軽海峡横断カヌートライアル

かつて、あまたの開拓者たちが大いなる志を抱いて渡った津軽海峡へ、20世紀のビッグプロジェクトである青函トンネルが開通し18年になります。

この快挙をたたえ、第1回津軽海峡横断カヌートライアルが、1988年8月に実施されました。2004年第7回大会の終了後、第8回大会は2006年に開催することを約束して解散しました。

そして本年、この第8回津軽海峡横断カヌートライアルを通じ海峡両沿岸地区の活性化を目ざして本大会を全国規模で開催することとしました。

津軽海峡は潮の流れが速く、また、青森県中泊町小泊地域ー北海道松前郡松前町間は暖流と寒流のぶつかる場所でもあるため、総じて波は高く、潮の流れも不規則になっており、カヌーでの横断には幾多の困難が立ちまわります。

中泊町小泊地域の船場から、北海道松前町までの道のりは約32km。小さなカヌーに乗った現代版ドンキホーテ。強大な自然に挑む孤高の騎士達が、午前四時、津軽海峡へと旅立ちます。8月とはいえ、まだ薄暗い海上。船体をチェックし、いざ松前町へ。



大海原へ進むカヌー

大海原へとカヌーを進めると、すぐ見えてくるのは小泊地域の航海の目印であり、日本二大岬と称される小泊岬（権現崎）。標高229mのこの岬は、切り立った断崖絶壁が見るものを圧倒します。また、山頂に鎮座する尾崎神社には、今から約2,200年前、秦の始皇帝の命を受け、不老不死の仙薬を求めて権現崎に漂着したと言われている「徐福」が、航海の神として祭られています。



日本二大岬と称される小泊岬（権現崎）

ここを過ぎれば、後は北海道松前町を目指してひたすらカヌーを進めていきます。航海の神を背後に、津軽海峡の荒波に挑み続けること約11時間ほどで、北海道松前町へと到着。共に多くの困難を分かち合い、乗り越えた仲間たちとの交流と記念撮影が行われ、伴走船で帰った青森県中泊町では、ささやかな完漕記念の打上げも行われます。

子どもの頃にあこがれた大海原への旅。あなたも大自然へチャレンジしてみませんか？

◎詳細は以下のとおり。

1. 主催 小泊観光協会
2. 日時 平成18年8月5日（土）～8月6日（日）
3. 場所 青森県北津軽郡中泊町大字小泊→津軽海峡一帯→北海道松前郡松前町
4. 現地連絡先 青森県北津軽郡中泊町大字小泊字砂山1080-1
小泊観光協会 会長 川山光則
TEL/FAX：0173-64-3700

山形県酒田市 みなとオアシス酒田



酒田港は、山形県を貫流する最上川の河口に発達した港で、江戸時代に河村瑞賢が開拓した西廻り航路の起点となるなど、日本海沿岸交通の要衝として発展してきました。

酒田港は現在も、山形県唯一の重要港湾、国際貿易港として大きな役割を果たしています。特に近年、中国黒龍江省との「東方水上シルクロード」や韓国釜山港との定期コンテナ航路が開設されており、さらには平成15年に国土交通省からリサイクルポートに指定され、全国18箇所の静脈物流拠点の一つに位置づけられました。このことから酒田港周辺にはリサイクル関連企業等の集積が進みつつあり、環日本海物流及び地域産業振興の拠点として期待されています。

中心市街地に隣接する酒田本港地区は、昨年、国土交通省東北地方整備局より「みなとオアシス」の認定を受けました。日本海の新鮮な幸を満喫できる「さかた海鮮市場」、海の博物館「酒田海洋センター」、山形県唯一の離島「飛島」を結ぶ定期船「ニューとびしま」



企業集積が進む酒田港

発着所、スケートボード広場等がある船場町緑地、日和山公園などが一体となって市民の憩いの場となっています。また、明治時代に建設された庄内米の倉庫

「山居倉庫」の一部を改装した観光物産館「酒田夢の倶楽」や「本間家旧本邸」、「相馬樓」、「旧鑑屋」などとともに観光拠点としての役割も担っており、多くの観光客が訪れています。

船場町緑地

特に「さかた海鮮市場」と「酒田夢の倶楽」は、地域の資源と日本海の恵みを活用した観光・交流施設として、観光振興及び地域活性化に寄与したということで平成18年度の日本港湾協会企画賞を受賞したところです。



↑ニューとびしま発着所（左）さかた海鮮市場（中央）酒田海洋センター（右）



↑山居倉庫

酒田夢の倶楽→

「みなとオアシス酒田」では、以下のように年間を通じて各種のイベントを行っています。酒田市にお越しの際には、ぜひお立ちより下さい。

4月 日和山桜まつり

7月 「海の日」記念事業

国土交通省監督測量船「みずほ」による海上クルージングや、海上保安部巡視船の体験航海等

7月～8月 「ニューとびしま」による日本海夕陽クルーズ

1月 日本海寒鱈まつり



秋田県能代市

新しい能代市を紹介します

●平成の大合併～そして新能代市へ～



能代市と合併した旧二ツ井町

平成18年3月21日、能代市は隣町である二ツ井町と合併し、人口は約6万4千人となり、海と山の自然豊かなまち、新「能代市」となりました。能代市について、これまで、「バスケの街」「風の松原」「風力発電」を紹介してきましたが、今回は、新能代市の中から二ツ井地区を紹介します。

●「日本一高い秋田杉」

天然秋田杉は、木曾ヒノキ、青森ヒバとともに、日本三大美林として名高く、市の南部に位置する仁鮎水沢スギ植物群落保護林には、樹齢180年～300年ほどの、約3千本の天然秋田杉があり、高さ50メートル前後の巨木が林立しています。

ここは広さ約18ヘクタールで、その中に高さ58メートル、直径164センチメートル、推定樹齢250年の日本一高い秋田杉があります。秋田営林局が平成7年から8年にかけて、国内各地の高いとされている杉を実測したところ、実際にはどれも50メートル程であったため、晴れて日本一を宣言しました。まっすぐに天をめざして、伸びる姿は壮観であり、幽玄さをたたえています。

ちなみに材積40立方メートルのこの木、一本で55坪の家が建てられるそうです。



秋田杉

● 「きみまち阪」

〃 大宮のうちにありてあつき日を いかなる山か君はこゆらむ 〃

これは、明治14年、東北ご巡幸中の明治天皇を気遣う皇后の気持ちをしたためた和歌です。夏の長旅を気遣う便りに添えられた、なんとも愛しい和歌はこの地で天皇の到着をお待ちしてたというロマンチックなエピソードが残っています。この手紙によって、明治天皇のこの地での思い出は、より鮮明なものとなったのではないのでしょうか。翌明治15年、当時の宮内省を通じて、この地を「后阪(きみまちざか)」と命名されました。



公園内には、このエピソードにちなみ、「恋文神社」や「恋文ポスト」があり、ここにお参りしたり、このポストに手紙を投函すると恋が叶うとされています。

恋文ポスト

きみまち阪は、春約1500本のソメイヨシノやしだれ桜が咲き、夏はミヤマツツジやヤマツツジなど約2500株が新緑の山に映え、秋、色づいたもみじやカエデの衣装をまとい、そして冬、澄んだ空の青と雪景色と四季を通じて、色鮮やかな風景を見ることができます。

みなさん、一見の価値はありますよ！



紅葉が美しいきみまち阪公園



公園で行われた地元郷土芸能発表会の様子

今年度 東北地方で3つのみなとオアシスが誕生



みなとオアシスあおもり
Minato OASIS Aomori

**青森県
青森港**

～海の記念日、発祥の地～
青函交流の歴史を伝え、人が憩い賑わうみなとまち





みなとオアシスのエリアと構成施設



提供される主なサービス

- **情報** ・ 観光案内ブース(八甲田丸)
・ パンフレット
- **交流** ・ 展示ホール
・ 多目的ホール(八甲田丸内2箇所)
・ 公園
- **飲食** ・ レストラン(旅客船ターミナルビル内1店舗)
- **その他** ・ みちのく北方漁船博物館
・ 旅客船運航(青森→佐井間)



みちのく北方漁船博物館



八甲田丸

イベントのご紹介

- **フリーマーケット**(毎月)
5月から10月までは青函緑地で、
11月から4月までは八甲田丸船内で開催
- **八甲田丸ゴールデンウィークイベント**
(4月下旬～5月上旬)
八甲田丸船内でスタンプラリーなど様々なイベント開催
- **八甲田丸港フェスタ(海の日)**
八甲田丸船内で「海の日」図画コンクール作品展・映画上映会を開催するほか、青函緑地では港内クルージング・フードコーナー・コンサートなどを開催
- **八甲田丸ファン感謝デー**(1月上旬)

アクセス



- 公共交通機関：<八甲田丸、青森港旅客船ターミナルビル、青函緑地>
・ JR青森駅から徒歩5分
- 自家用車：<八甲田丸、青森港旅客船ターミナルビル、青函緑地>
・ 東北縦貫自動車道青森ICより約20分

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 あおもりみなとクラブ
電話:017-735-8150
URL:<http://npo-amic.com>



みなとオアシスほんじょう

Minato OASIS Honjyou

～海で遊ぼう!～

マリンスポーツ情報発信基地 海と川のふれあいパーク



秋田県
本荘港



秋田県南部に位置する「みなとオアシスほんじょう」は、マリッジ施設が整備され、海の遊びを満喫できます。700mの開放的なロングビーチでの海水浴、マリナーでのヨット乗船体験をはじめマリッジジェットや水上スキーを楽しむイベントも行われます。

本荘マリナーは、豊かな漁場で知られる飛島にも近いことから、ボートフィッシングやクルージングを楽しむ方も多く、マリッジ施設の拠点施設となっています。

また温泉保養施設ばいんすば新山や整備されたオートキャンプ場により、ゆっくりとした海での時間をお過ごしいただけます。

子吉川の河口付近ではボートやカヌーなどの水辺スポーツも盛んであり、海と川両方に触れ合うことができるエリアとして、由利本荘市の観光拠点となっています。

アクセス



- 公共交通機関：JR羽後本荘駅からバスで23分 田沢下車、徒歩10分
JR羽後本荘駅からバスで25分ばいんすば新山下車
- 自家用車：日本海沿岸東北自動車道岩城ICより車で20分

お問い合わせ先

由利本荘市 本荘総合支所産業課
電話：0184-24-6349
Mail:hon-sangyo@city.yurihonjo.akita.jp
URL:http://www.city.yurihonjo.akita.jp/

みなとオアシスのエリアと構成施設



提供される主なサービス

- 情報
 - ・観光案内ブース (本荘マリナー内)
 - ・バンフレット (本荘マリナー内、キャンプ場管理棟内、ボートプラザ・アクアバル内)
- 交流
 - ・多目的ホール (ボートプラザ・アクアバル内)
 - ・公園
- 飲食
 - ・レストラン (ばいんすば新山内1店舗)
 - ・軽食 (ボートプラザ・アクアバル内1店舗)
- その他
 - ・温泉 (ばいんすば新山)
 - ・キャンプ場



アクアバル



オートキャンプ場

イベントのご紹介

- マリナー海上祭 (海の日)
クルーザーの乗船体験、マリッジジェット体験、水上スキー体験等
- 子吉川フェア (7月下旬)
いかだ下り大会、物産展、ボートやカヌー乗船体験等
- 本荘川まつり花火大会 (8月上旬)
約6000発の花火が打ち上げられる
- 水辺のまち市場 (毎月第2日曜日)
アクアバルで定期的に行われるフリーマーケット提供される主なサービス



花火大会



みなとオアシス鼠ヶ関

Minato OASIS Nezugaseki

～義経上陸の地「鼠ヶ関」へ～

日本海の恵みと歴史ロマンに出会うまち 日本海随一のマリーナと白い人工ビーチ



山形県
鼠ヶ関港



その昔、義経主従が一計を案じて通過したと伝えられる関所「念珠関」があった県境のまち鼠ヶ関に、「みなとオアシス鼠ヶ関」があります。

「みなとオアシス鼠ヶ関」は全国の避難港の1つである鼠ヶ関港を中心に、日本海の夕陽が美しい「弁天島の遊歩道」や、山形県指定天然記念物の臥龍松を觀賞できる「念珠の松庭園」があり、歴史ロマンを感じながら気軽に散策が楽しめます。

また、一方で日本海側随一の規模を誇る「鼠ヶ関マリーナ」、人口海浜や広大なイベント広場を備えた「マリナーパークねずがせき」があり、健康的な海洋レジャーの拠点として人々に親しまれています。

みなとオアシスのエリアと構成施設



提供される主なサービス

- **情報**
 - ・パンフレット (鼠ヶ関マリーナ内、念珠の松庭園内)
 - ・案内看板
- **交流・公園** (マリナーパークねずがせき)
- **その他**
 - ・弁天島遊歩道・マリーナ (鼠ヶ関マリーナ)



鼠ヶ関マリーナ

アクセス



- 公共交通機関：JR鼠ヶ関駅より徒歩3分
JRあつみ温泉駅より平沢行きバス鼠ヶ関駅前下車徒歩3分
- 自家用車：山形自動車道鶴岡ICより約40分

お問い合わせ先

鶴岡市 温海庁舎 産業課
電話：0235-43-4617
Mail: kikaku-at@city.tsuruoka.lg.jp
URL: <http://www.city.tsuruoka.lg.jp/atsumi/index.html>

イベントのご紹介

- **全国大漁旗フェスティバル** (5月)
全国の大漁旗が集結。港まちの活気と海の幸が思う存分楽しめます。
- **サンセットビーチトライアスロン** (7月)
全国約250名の鉄人がスイム、バイク、ランで競う伝統の大会
- **岩ガキフェスティバル** (7月)
夏の恵み特産岩ガキの食べ尽くしフェスティバル
- **義経上陸の道歩こう大会** (10月)
義経伝説にあふれた鼠ヶ関を、ボランティアガイドの案内で散策します



サンセットビーチトライアスロン大会



岩ガキフェスティバル

【編集・問い合わせ先】

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局

国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 振興室

TEL 022-716-0003 FAX 022-716-0017

E-mail: info-k82ab@pathr.milt.go.jp